

広報 やまこし

1983
4月
第178号

■発行/新潟県古志郡山古志村役場 電話 (025859) 2331 ■印刷/大川印刷株式会社 ■4月1日発行



ぼくたち虫小1ねん わんぱく5にんぐみ

今春、虫亀小学校の新人児童は男の子ばかり五人。わんぱく5は相当なものだが、それだけにチームワークは抜群のことである。(写真・前から)

五十嵐みつるくん(茂さん方)
かいしゃのしごとをして、おかねもちになりたい。
田中つとむくん(博さん方)
さしみをこくしたまえさんになるんだ。
酒井てっぺいくん(幸一さん方)
あそびとべんきょうをいっぱいしたい。
長島ゆういちくん(博さん方)
どかたにで、ヨンボのつんでんしゅしたい。
五十嵐としのぶくん(進さん方)
一〇〇てんって、まんがをかきこになる。

↓ 虫亀小学校完成

地区民待望の虫亀小学校が完成しました。2月25日に竣工検査、3月6日にPTA総出で引越し、7日から新しい校舎で授業が始められています。

また、13日に入校式と、地区民総出で祝賀会が行われ、喜びのメッセージを結んだ風船を空いっぱい飛ばしました。



人口の動き (58.2.28現在) ■人口 3,522(+2) 男 1,763・女 1,759 ■世帯数 902(+1)
■2月中のうごき □出生 5 □死亡 1 □転入 4 □転出 6

停電のお知らせ

4月15日(金)
9時~午後1時
区域一山古志村全域



献血にご協力ください

4月15日(金)
役場前
午前10時~12時
種芋原農協
午後1時~3時



犬の注射登録

犬を飼っている人は、登録(年1回)と狂犬病予防注射(春と秋の年2回)を必ず受けてください。

期日	会場	時間
4日26日(火)	虫亀診療所	10:15~10:45
	東竹沢診療所	11:00~11:20
	役場	11:30~12:00
	民俗資料館	13:00~13:20
	種芋原公民館	13:40~14:00

▶手数料(登録、注射)……3,710円

四月一日付け、()は旧所属
退職は三月三十一日付け

■総務課—関洋一(住民) ■税務課—小沢亀次郎(種芋原連絡員)
■住民課—藤井薫(税務) ■産業課—青木勝(税務) ■建設課—小川喜太郎(産業) ■山古志中—関金作(総務)、川上清吉(同) ■虫亀小—佐藤朋子(新採用)

▽退職—五十嵐久代(住民)、八久保利宮(山古志中)、長島トシ(同)、酒井チヨ(虫亀小)

※なお、五十嵐久代さんは特別

三月号三ページ五段目、全日本錦鯉品評会準優勝「五十嵐弘(虫亀)」は「五十嵐弘(山中)」の誤りでした。

記事の訂正

昭和五十一年五月三十一日出張所廃止に伴い、種芋原に連絡員を配置していましたが、三月三十一日での連絡員を廃止します。

種芋原連絡員を廃止

職保健婦として引き続き勤務することになっています。

健康相談においでください

日ごろから、心と
身体の健康管理を

みなさんに日ごろから心身の健康づくりの認識をもってもらい、またその相談に応じるため老人保健法による「健康相談」を開きます。

保健婦等により、健康についての相談、指導、助言、さらに血圧測定などを行います。

健康に不安を持っている方、家族の健康づくりを進めようとしている方など、お気軽においでください。

健康相談は各地区ごとに二か月一回開きます。日程はその都度



お知らせ

お知らせしますが、偶数月(四月、六月、八月……)は種芋原、虫亀、奇数月(五月、七月、九月……)は南平、竹沢、東竹沢の予定です。

- 四月、五月の日程 —
 - ◎4月18日(月) 10時~午後3時
…上村担い手センター
 - ◎4月19日(火) 10時~12時:虫亀飼育所
 - ◎5月9日(月) 10時~12時:竹沢農協 午後1時~3時:桂谷集落センター
 - ◎5月10日(火) 10時~12時:小松倉集会所 午後1時~3時:…大久保集落センター
- ※四十歳以上の希望者に「健康手帳」を交付します。ぜひ交付を受け、健康管理に役立ててください。

戸籍謄抄本 1通300円

4月から



政令改正により、戸籍謄本、抄本などの交付手数料が、四月一日

から次のとおり引き上げられました。—一通につき、()は改正前—

- *戸籍謄抄本 三百円(二百円)
- *戸籍証明 二百円(百円)
- *除籍謄抄本 五百円(三百円)
- *除籍証明 三百円(二百円)

なお、この手数料は村の貴重な財源となっており、昭和五十六年度で千二百六十五件(有料分)、二十八万五千円でした。

民ようのつどい

4月17日(日)午後1時
竹沢小学校

役場人事異動

施政方針



山古志村長 酒井省吾

小雪と想っていた今年の冬ですが、春の訪れが遅く、彼岸ごろからようやく陽ざしが暖かく感じられるようになりました。本年も天候が順調であることを皆様とともに御祈り申し上げます。

健全な行財政運営とともに 活気ある住みよい村造りを

昭和五十八年度の始めに当たり、村政への所信を申し述べさせていただきます。村政をとりまへ諸情勢はまことに厳しくなっております。国、地方とも財政危機に直面しており、とくに地方交付税は昭和二十五年制度発足以来始めて前年度を下回る見通しです。自主財源に乏しく、財源のほとんどを地方交付税をはじめとする国、県の依存財源で賄っている本村にとっては、極めて深刻な事態として受け止めなければなりません。

は十八億二千円余、前年度対比七・九%増と、最大規模の予算を計上しました。これは、懸案の役場庁舎、コミュニティセンター、診療所の建設という大型事業に取り組み、予算のうえでも大きな比重を占めていることによるものです。財源は、地方交付税の減少を考慮に入れ、準備した基金を全額繰り入れし、起債、補助金を見込んでの苦心の編成であります。さらに人件費をはじめ経費の節減に努め、限られた財源を重点的、効果的に配分するに十分意を用いたところであります。

健全な行財政を運営しながら活気ある住みよい村造りを行うこと、これが私共に課せられた使命と考えております。しかしながら村造りは、行政だけでなく、村民、そして地域全体が一体となって推進すべきものであると思います。村民皆様の尚一層の御理解と御協力を御願いたします。

算などを可決

昭和五十八年第一回定例村議会は、三月十日から二十三日までの会期で開かれました。昭和五十八年度当初予算など二十九件が提案され、傍聴者もある中慎重に審議が重ねられ、それぞれ原案どおり可決承認されました。また、最終日の二十三日、議

長、副議長の辞任により、新しい議長に樺沢松雄氏、副議長に高野新之丞氏が選ばれました。なお、主な内容は次のとおりです。

保健婦五十嵐久代さんが一般職を退職されましたが、引き続き特別職として勤務していただくことになっていきます。このため、その報酬月額を定めました。

督促手数料を五十円から百円に引き上げました。▽乳児医療費助成条例の制定、妊産婦乳児医療費助成廃止に伴う経過措置に関する条例の制定 昭和四十八年より妊産婦と二歳までの乳児の医療費を助成してきましたが、妊産婦については四月

58年度予 29件

3月定例 村議会



届け出分から廃止されました。乳児と三月までに届け出た妊産婦については、引き続き制度が適用されますが、四月一日診療分からは老人医療費と同様に、通院一

か月四百円、入院一旦二百円の一部負担金が必要になりました。▽家庭奉仕員派遣に伴う費用徴収 条例の制定 ねたきりの老人や重度身体障害

者などの身の回りの世話をするため家庭奉仕員を派遣しています。この派遣に伴う費用は、低所得世帯は無料ですが、所得税課税世帯については次のとおり利用負担をしていただきます。(一時間) 所得税三万円未満 二九〇円 所得税三万円以上 五八〇円 なお、家庭奉仕員派遣の申し込み、その他詳しいことは住民課へ。

村道の適正な維持管理を行うため昭和五十二年より行ってきた村道測量が完了しました。これに伴い、村道全線にわたって見直しを行ったもので、村道は二四四路線、総延長一四八キロメートルとなりました。なお、一、二級村道は次のとおりです。

補正予算 一般会計予算(補正第五号) 一七万円を追加し、総額は一七億一、五五八万円となりました。これは、教育施設基金(減三、〇〇〇万円、虫亀小新築工事費(減一、一〇〇万円、その他経費を節約し、役場建設基金五、八四〇万円およびスポーツ広場用地購入費一、一〇九万円などに充てたものです。 特別会計でも、年度末にあたり補正を行いました。

議会 人事

新しい議長に樺沢松雄氏



樺沢松雄議長



高野新之丞副議長

議会最終日の三月二十三日、坂牧正憲議長および五十嵐要吉副議長が辞任されたことにより、

新しい議長に樺沢松雄氏、副議長に高野新之丞氏が選ばれました。また常任委員会の構成も次のよ

- うに決まりました。(常任委員の就任は四月三日。以下敬称略)
◇総務委員会 金内 栄吉 青木 秀敏 星野 一夫 樺沢 松雄 五十嵐秀夫
◇産業厚生委員会 高野 哲四 小川 金雄 坂牧 正憲 高野新之丞 小川惣右衛門
◇建設委員会 佐藤 武一 五十嵐要吉 小幡 勝 星野 義雄



高橋生二助役 退任

助役の高橋生二さんが、任期満了により三月二十一日退任されました。高橋さんは、旧竹沢村当時から引き続き二十二年間村議会議員として、さらに昭和四十四年から約六年間教育長、昭和五十

年から八年間助役として、村の発展に尽くされました。また、消防団長、山古志村観光開発公社社長などを歴任し、功績を残されています。長い間、本当にご苦労さまでした。

4月10日(日)は県議選



投票時間は、朝7時から夕方6時までです。棄権しないよう、ピンク色の入場券を持っておいでください。投票についてわからないことがありましたら、遠慮なく選管または投票所の係員にお申し出ください。

58年度当初予算

ことしの一般会計 十八億二千万円に

村の今年一年間の仕事を決める当初予算は、一般会計、特別会計合わせて二億六、六三三万円(会計間繰出による重複分を除く)を計上しました。

このうち一般会計は一八億二、〇八〇万円。厳しい財政状況のなか、前年比七・九%伸び、最大規模の予算です。今年は何んな事業をするのか、主なものを紹介します。



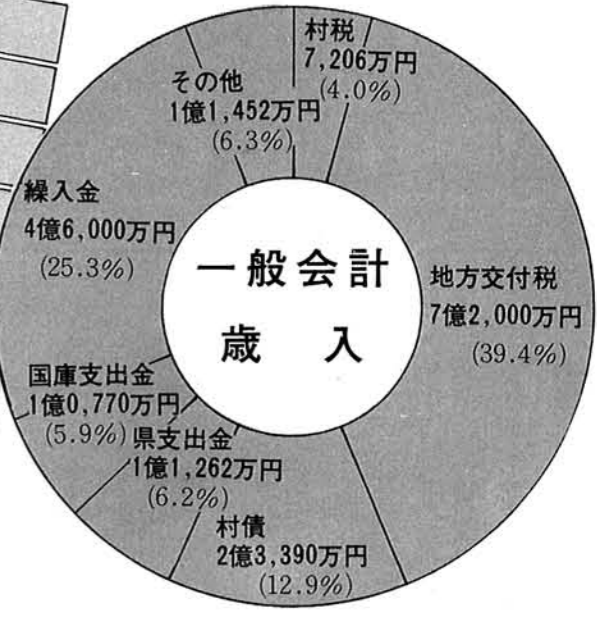
きびしい財政状況のなかで 役場庁舎・コミセンを建設

国・地方ともに財政危機が叫ばれており、村の財政状況もたいへん厳しくなっています。こうした中、五十八年度一般会計予算は一八億二、〇〇〇万円を計上しました。昨年度より、一億三、四〇〇

万円、七・九%伸び。昨年の虫電小学校建設を上回る、役場庁舎・コミュニティセンター(村民会館)・診療所建設の大型事業を行うための最大規模の予算です。
(次のページにつづく)



一般会計歳出



一般会計歳入

村づくりの拠点

役場庁舎・コミセン・診療所を建設

役場庁舎(総務費・コミュニティセンター)同、五十九年度完成。診療所(衛生費)を建設します。事業費は合わせて六億一、五〇〇万円と、村政最大の事業です。建設位置は、昨年七月号広報でお知らせしましたが、現庁舎より



現役場庁舎

このため、普通建設事業費は、昨年度より約二億円増の八億四、七〇〇万円、総予算の四六・五%となりました。また、村の借金を返す公債費も年々増加し、三、三〇〇万円増の二億二、九〇〇万円に。いっぽう、人件費の伸びは最小限にとどめ、物件費、扶助費、積立金などは減少しました。

三五〇m小千谷寄りの「諏訪の宮」で、すでに昨秋より造成を始めています。



新庁舎、コミセン建設地

役場庁舎は鉄筋コンクリート四階建(一階は車庫等)延約一、八〇〇m。コミセンは二階延一、〇〇〇mで、ステージ付大ホール、研修室、調理実習室、保健相談室、談話室などを備え、村民交流の場や村造りの拠点として期待されています。また、診療所延二〇〇mはコミセン二階に併設され、内科、歯科などの診療を行います。

農村定住事業のスポーツ広場建設(六十一年度完成)のため、今年村単独で造成を行います。種彦原の学校上側の国道沿いに造られ

道 路

村道五線を整備

毎年重点をおいている道路整備

産 業

スポーツ広場に着手

農村定住事業のスポーツ広場建設(六十一年度完成)のため、今年村単独で造成を行います。種彦原の学校上側の国道沿いに造られ

福祉・衛生

老人の福祉に―一、三〇〇万円
保育所や児童手当、青少年の育成に―六、九〇〇万円
尿処理などに―三〇〇万円
成人病など病気になるらないように―五〇〇万円
母子の健康に―三〇〇万円
※今年度より、母子栄養強化ミルクの支給は、所得税非課税世帯のみに限らせていただきます。

その他

*生活路線バス補助金六〇〇万円
*県会議員選挙、参議院選挙、村長選挙が行われます
*防火水そうを二基建設します
*消防ポンプ積載車を竹沢に配置
*広報やまこし発行に一〇〇万円

新しい駐在さん

三駐在所とも異動

◎竹沢駐在所 市橋 卓さん
新発田市出身、34歳。前任地は加茂署でパトカー乗務。



◎種彦原駐在所 山口和一さん
両津市出身、27歳。前任地は新潟南署で交番勤務。奥さんと長女の三人家族。趣味は読書に音楽鑑賞。「早く地域の人と顔見知りになりたい。飲酒運転は絶対しないように」



◎蓬平駐在所 田中 隆さん
柿崎町出身、37歳。前任地は長岡署交通課。奥さんと子ども二人の四人家族。趣味はスキー。「住民と仲よくやってゆきたい」



交通事故防止に努めたい」
なお、前任者竹沢駐在町田正晴さんは長岡署六日市駐在所へ。種彦原駐在多田徳蔵さんは退職されて六日町へ転出。蓬平駐在所小泉一義さんは新井署へ転任されました。

松平氏講演に
四百人



三月十七日竹沢小学校で、村商工会主催により松平康隆氏の講演が行われました。金メダルをとった男子バレーチームの監督とあって、平日にもかかわらず、小中学生をはじめ聴衆は約四百人。
「人間は、自分だけのために、他人の気持ちがわかる人こそたたくましい人であり、ありがたうと感謝の気持ちを持っているか否かで違いがでます。チームが世界一になったのも、相手チームのつらさ、苦しさを理解できるようになつたからなんです」

一月に長男啓祐を出産

「主人の晩酌の量も少し減ったみたい」

桂谷の小池公子さん



小池公子さんは、二年前に結婚（実家は下村、星野金次郎さん方）し、今年一月二十五日に長男啓祐くんを出産しました。ご主人は啓祐さん。

「啓祐は、主人に似ているとたいてい言われますし、竹沢の父ちゃん似とも。私にはだれも似ていると言ってくれませんが、手の形は私似なんです。目もぱっちりし、鼻も高いし、将来はきっと美男子。もう、あやすと笑ったり、泣いてるとき抱きにいくとうれしそうにするんですよ」

寝起きや食事の時間など、生活が赤ちゃん中心に。「主人も、朝すぐ赤ん坊を抱いて

て起き出してきましたし、夕飯を食べるときでも赤ん坊をひざの上に。晩酌の量も少し減ったみたいですよ」
公子さんは、産休も終わって再び小千谷市の会社に通勤していきるので、朝眠いのが一番つらいといえます。日中はお母さんが赤ちゃんの世話をしていますが、「仕事をしても、ふいっと、赤ん坊がいい子になっているかなって考えたり、終業実際になると早く家にもどりたいと思ったり」と。とここで、「主人は角突き牛、ひるやす号」を飼っています。

「趣味もあれほど真剣になると感心しちゃいますよ。まだ若いのに、毎日一人で牛の世話をしていますから。私、以前は牛はあんまり好きじゃなかったんですけど、たまに主人の都合の悪い時お母さんと一人で餌くれをしていて、最近牛のおいも気にならなくなりましたし、だんだん牛もかわいくなって思ったり……。角突きもほとんど見に行きますが、主人が勢子に出てくると、牛に突かれやしないかとほらはらしています」

育兒に、仕事にと休むひまもない毎日のことですが「同じ年代の人と集まって何かやりたくなって思っています。それと、公園というか、気軽に集まった遊べたりする場所がほしいですね」。

県の住宅資金

県では、持家促進と木材関連業界の振興を図るため、住宅建設資金を貸し付けます。

▽借りることのできる人
自ら居住する住宅を建てる人（新築購入、増改築を含む）で、資金を借りなければ建設のできない人。新築の場合、住宅金融公庫の五十八年度第一回融資を受けること。所得制限などがあります。

▽貸付限度額—新築 四百万円 増改築二百万円

▽利率・償還期間—木造一三三㎡以下は年四・五％、十五年以内。一三五㎡を超える木造、および非木造は年六・〇％、十年以内。

▽受付期間—四月三十日まで

※申込、その他詳しくは農協などの取扱金融機関へ。（建設課）

建物を建てる時は 工事届、確認申請が必要です

床面積10㎡以上の建物を建てる場合、県知事に建築工事届を提出しなければなりません。さらに次の建物の建築には確認申請が必要です。

- ▶確認申請が必要な建物
木造の建物—階数が3階以上、または床面積が500㎡を超えるもの。
非木造の建物—階数が2階以上、または床面積が200㎡を超えるもの。
自動車車庫—車庫に使用する部分の床面積が100㎡を超えるもの。

▶提出先
役場を経由して、建築の3週間前までに県知事に提出してください。
※ 確認を受けた建物が完成したときは「工事完了届」を完了した日から4日以内に提出してください。

（建設課）

スパイクタイヤは 早めに交換しよう

雪道とくに凍結路に大きな威力を発揮するスパイクタイヤですが、近年その普及に伴って、舗装道路の摩耗およびその粉じんによる公害が大きな問題になっています。

雪融けも進み春らしい陽気になってきましたが、道路状況を見て早めにスパイクタイヤから夏タイヤに交換してください。また、夏タイヤへの交換は、



燃料節約や騒音防止にもつながります。
*ふいの降雪に備え、当分の間タイヤチェーンを積んでおきましょう。

*夏用タイヤ、冬用タイヤそれぞれホイール組みをしておくとタイヤ交換が容易です。

*消雪のための道路への雪の投げ捨てはやめましょう。



—子どもの家庭教育を考える(16)—

《仲間にバカにされたくなかつた》—非行少年の手記「お母さん、なぜぼくを生んだのですか」から

私は東京に生まれ育ちました。小学校二年の夏休み、リユーマチ熱という病気をこじらせ、七か月入院しました。入院中は母に甘え、毎日日本を読ませ、おいしいものを食べてわがままいっばい。

退院して学校へ。七か月の欠席でなんにもわかりません。一年遅らせてくれれば苦勞せずですんだし、こんなやくざな人間にならずにすんだかもわからないと、今考えると、母親が私のためにとってくれたことは、かえって不幸だったと思います。字もわからず、算数もわからず、私はみんなに大変な引け目を感じました。学年が進むにつれてその



引け目も大きくなり、みんなからばかにされている、と思うようになってしまったのです。そして、それをカバーするように、みんなに気持ち合わせたり、お金でみんなにおごったり、上べだけのつきあい……。お金がなくなれば、家からだまって持ち出し、家になければ他人の家のものまで手を出すようになりました。

本格的な非行に入ったのは、小学校六年の二学期終わりです。中学校に入学してからは不良グループ

プとも親しくなり、悪事も一段とひどくなりました。それまでは授業をさぼっても学校の運動場のすみっこや便所の中にかくれていたのが、今度は町へ出ては悪事をやるようになったのです。

その日は、朝から暗れわたった土曜日でした。みんなで体育館にこっそり集まり遊んでいました。そのうちだれかが「おい、酒を飲もう」と言うと、みんなが待ちかねていたように「飲もう、飲もう」と大賛成。みんなのお金を集めて五百円しかありません。そこで下級生を呼び出し、足りない分は出させ酒を買いに行かせました。別の下級生にはコップの代りになる物を取りに行かせ、その間私たちはタバコをふかしながら待っていました。

下級生が酒を買って帰るとき、そくみんなで飲み始め、そのときいた七人くらいで一升ビン二本を空けてしまいました。それまではよかったのですが、酔ったいきおいで学校中をあげまわり、注意に来た先生にまで暴力をふるってしまつたのです。

それからというもの、パチンコ、喫茶店、映画館とかし（場所）をかえ、お金のないときは下級生を呼びつけ金を都合させました。たまに思い出したように学校に行つてふざけていると、先生が敬語を

使い「どんな本を見てもいいから静かにしてくれたまえ、頼む」……。先生方ももっと真剣に、真心中からぼくたちの寂しさ空虚を理解し、本当に心の友人になってくれればこんなにもぐれなかつたと思います。

中学校を卒業してからホテルでコック見習いをしました。先輩とけんかしてやめました。そのうち仕事はもういやになり、ぶらぶらしているのにお金に困ります。家のものを質屋に入れたり、今度は他人のものにも手を出すようになります。あげくの果ては警察につかまり鑑別所に行くはめになってしまいました。

今考えるとばからしいことばかりです。母親に甘やかされ、なんでも自分の思うとおりに世の中の道が開けてゆくと図にのつていたこのさまで、大きくなってがみがみ叱つてもだめです。小さいとき、小学校一年に入るか入らないかとき、きちんとつけてくれていたら、もっとましな人間になっていたでしょう。